

# 「町政懇話会」結果報告・「協働のまちづくり座談会」 過去開催分のご意見に対する町の対応について



昨年10月に開催した「町政懇話会」について、17の方が参加され、町民の皆さんから直接、貴重なご意見やご提案をいただくことができました。誠にありがとうございました。

概要については、広報まつだ12月号でご紹介しましたが、今回は、その中でいただいたご意見の一部および、過去の座談会でいただいたご意見に対する町の対応についてご紹介します。

## 町政懇話会の主な内容

介護福祉関係について、土日にも大きな事案が発生するため、プロフェッショナルな方の相談窓口が欲しくなることもある。深夜・土日の相談窓口がほしい。

健康福祉センターに木質バイオマスを導入することについて、資源として間伐材があってもさまざまなコストがかかり継続させるのは、難しいのではないかと。

JR松田駅の北口について、依然として活気がないのでもう少し改革してほしい。また、エレベーターの設置について、JRと検討してほしい。

段々地域も高齢化が進み、自治会の役員や委員の受け手も少なくなっている。今後、町を背負って立つのは40～50代くらいの人であると思うが、町の案内などほとんどのものが紙ベースである。今は70代の方が主となり働いているのが実情であるが、PCやスマートフォンで若い人が対応できる仕組みづくりを早く行うことで変わってくることもあるのではないかと。

町ではIT化の総合的な計画がないが、IT化は事業を単発で進めていくと費用がかさむため、できれば計画を作って予算取りを行うような形をとるとよいと思う。

福祉課は地域包括支援センターもかねているため、スリム化を考えると外注に出すという方法もある。そういう根本を見直し、行政改革に取り組んでいただきたい。

## 過去に開催した座談会でいただいたご意見に対する町の対応

立花学園高校前の通りについて夜は暗く、大変危ない。防犯灯を増やすなど考えていただきたい。



中津川が増水し取水口が土砂で埋まっていた機能していないため、水門の砂の除去とボックス中の清掃をお願いしたい。



町民の皆さんからいただいたご提案・ご質問については、今後各自治会長様へ回答させていただき、町公式サイトにも掲載いたします。また、今後の町の施策や事業の推進、実行に生かしてまいります。

問 政策推進課 経営戦略係 ☎(83)1222

SDGsって、何だろう？



## ゴール6 安全な水とトイレを世界中に

6つ目のゴールは、『安全な水とトイレを世界中に』です。このゴールは、「すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する」ことを目標に、8つのターゲットが掲げられており、豊かさの促進や不平等への取り組み、さらには気候変動への対処において、水が果たす重要な役割を認識するものとなっています。

SDGsでは水道のパイプで管理されている水を「安全な水」としていますが、世界の人口の約3分の1の人が、安全な飲み水を使っておらず、安全に管理されたトイレを使えない人は世界の約6割にも上ります。

地球温暖化や人口の増加、経済の発展などの影響で、今後ますます水が不足することが予想されており、2050年までに4人に1人以上が、水不足の問題をかかえる国や地域で暮らすという予想もあります。安全な水をこれからも使い続けていくために、わたしたちが普段当たり前に使っている水について調べてみることも、その第一歩となります。

### 松田町の水道水は凄い！

松田町の水道水には、有毒化合物を体内から排出してくれたり、新陳代謝を高める作用があるとされている「サルフェート」と血糖値を下げる働きがあるとされる「バナジウム」というミネラル成分が含まれていることが分かっています。ぜひ、皆さんも意識して飲んでみてください。

参考:国際連合広報センター

問 政策推進課 経営戦略係 ☎(83)1222  
環境上下水道課 上下水道係 ☎(83)1227

「おもてなしマイスター認定ポロシャツ」を手に本山町長と記念撮影をした相原さん



まつだマイスター検定  
相原良介さんを「おもてなしマイスター」に認定！

令和2年12月19日（土）に初のオンラインで開催した「第8回まつだマイスター検定」には、町内外から5の方がオンライン受検、1の方が郵送にて受検されました。採点の結果、92点を獲得した相原良介さん（秦野市在住）が、史上2人目の「おもてなしマイスター」に認定されました。

相原さんは県西地域県政総合センターに勤務しており、「県西地域を担当する職員として、松田町のことを知りたくて受検した。「おもてなしマイスター」に認定されて嬉しい」と語られました。

問 政策推進課 経営戦略係 ☎(83)1222